

【様式1】

都道府県名	1. 2027年度シーリング案に関する意見	2. その他の意見
2. 青森県	・令和9（2027）年度専攻医シーリング案について、日本専門医機構から「令和9年度（2027）年度専攻医募集について」で示された方針に基づき実施することについては差し支えない。 ・シーリングは、医師少数県である青森県にとって、地域偏在を是正するために必要不可欠・重要な制度と考えている。 ・専攻医募集定員に係るシーリングについては、通常プログラムの加算数（令和8年度採用から）により、大都市部の募集定員が実態として固定化されていることから、医師の偏在是正を図るため、通常プログラムの加算数の上限を段階的に引き下げる等、厳格に実施すること。	義務年限履行中の地域枠卒医師が県外へ転出する際の大学・県の同意／不同意については、現在、全国一律の明確な基準がない。 このため、国は、各都道府県から、やむを得ない理由として離脱に同意した事例や不同意離脱に係る事例などの収集及び情報提供等を行うことを求める。

【様式2】各診療領域のプログラムに共通する内容について

都道府県名 【選択式（1行目のみ）】	領域 【選択式】	1. 複数の基幹施設設置に関する意見（内科、小児科、精神科、 外科、整形外科、産婦人科及び麻酔科のみ） 【自由記述】	2. 診療科別の定員配置に関する意見 【自由記述】	3. その他の意見 【自由記述】	日本専門医機構 への提供希望 【選択式】	関係基本領域学 会への提供希望 【選択式】
2. 青森県		— （なお、領域は、全19領域について記入している。）	診療科別の専門研修プログラムの在籍者総数と各年度の採用定員数の総数について、本県の医師確保対策や偏在対策に資するものとなっていることを確認した。	（様式1の2と同意見）	希望しない	希望しない
2. 青森県	2. 小児科	新生児疾患以外は、重要疾患のほとんどが大学病院でしか経験できず、指導医の確保も厳しいという状況が平成29年度以降変わっていないことから、引き続き大学病院1施設のみとすること。	—	（様式1の2と同意見）	希望しない	希望しない

【様式3】個別のプログラムに関する意見

都道府県名 【選択式（1行目のみ）】	領域 【選択式】	基幹施設名 【自由記述】	プログラム名 【自由記述】	1. プログラムの連携施設及びローテーションの設定に関する意見 【自由記述】	2. プログラムの採用人数に関する意見 【自由記述】	3. プログラムの廃止に関する意見（該当する場合） 【自由記述】	4. 地域枠医師等への配慮に関する意見 【自由記述】	5. その他の意見 【自由記述】	日本専門医機構への 提供希望 【選択式】	関係基本領域学会への 提供希望 【選択式】
2. 青森県	— （なお、領域は、全19領域について記入している。）	—	青森県内の医療機関が連携施設として設定されており、青森県内の医師確保対策や偏在対策に特段の支障は生じないものである。	青森県内の医師確保対策や偏在対策に特段の支障は生じないものである。	（該当なし）	県内の連携施設を中心としたプログラム構成となっており、地域枠医師の従事要件に配慮された研修プログラムである。	意見なし	希望しない	希望しない	